

# 宮崎県の農林水産業の概要

## 特徴・取組

宮崎県は、九州の東部に位置し、山岳地帯が多く、平地は宮崎平野と西諸県（にしもろかた）・北諸県（きたもろかた）盆地を有する程度で、総面積7,735km<sup>2</sup>のうち森林が75.7%で、農地は8.5%となっている。農地は概して火山性特殊土壌で覆われている。

海岸線は総延長398kmで、北部と南部で一部屈曲に富んでいるが、中部は平坦な砂丘地帯である。

「日本のひなた宮崎県」に象徴されるように、日照時間や快晴日数は全国トップクラスで平均気温が高く温暖な気候に恵まれている。

一方、大消費地から遠隔地にあるなど、不利な条件はあるが、東九州自動車道宮崎―北九州間の全線開通や、国際化に対応した空港・港湾の整備など、交通、物流の基盤整備が進んでいる。

また、令和4年度からは新造の大型カーフェリー2隻が就航することで、農水産品等が大消費地へ安定して輸送される。

産業構造は、県内総生産（平成30年度：3兆7,402億円）を産業別にみると、第1次産業が2,001億円（5.3%）、第2次産業が9,501億円（25.4%）、第3次産業が2兆5,646億円（68.6%）となっている。

農業は、畜産や施設園芸といった土地集約型の経営品目が主力で、収益性の高い農業を展開し、農業産出額は3,000億円半ばで推移（令和2年度全国第6位）。品目別には肉用牛、豚、ブロイラー、きゅうり、ピーマン、スイートピー、マンゴー、きんかん等が全国トップクラスの生産量を誇っている。

林業は、全国に先駆けてスギを中心とする人工林資源が利用期を迎え、路網の整備や高性能林業機械の導入、木材の加工・流通体制の整備に取り組んだ結果、全国有数の国産材供給基地となっている。

漁業は、北上する黒潮と、南下する沿岸水により複雑な海況となっており、沿岸はイワシ、アジ、サバ等の好漁場となり、沖合にはカツオ、マグロの漁場が形成されている。

令和2年度の農畜水産物の輸出額は、72.9億円（前年度比123%）で過去最高を更新した。輸出額全体の76%を畜産物が占め、その内、牛肉が49億円（同119%）、鶏卵が約5億円（同292%）と伸びた。

水産物では、サバ、ボラの卵を中心に増加し、初めて10億円（同116%）を突破した。

輸出先国・地域別の輸出額では、香港が約28億円と最も多く、次いで台湾、米国、シンガポール、EUとなっている。

## 主な農林水産物

### 肉用牛



「全国和牛能力共進会」において「宮崎牛」は史上初の内閣総理大臣賞を3大会連続で受賞。平成29年12月にGI登録。大相撲の優勝力士には、宮崎県知事賞として宮崎牛1頭分が毎場所贈呈されている。（飼養頭数全国3位）

### ブロイラー



年間1億羽以上を出荷し、多くの関連産業や雇用面から、地域経済を支える基幹品目。（飼養羽数全国1位）

### 豚



新たな県産豚肉のブランド確立にむけ、高品質で特徴ある豚肉生産を推進。（飼養頭数全国2位）

### マンゴー



完熟にこだわり、樹上熟成し自然落果したものだけを集荷。県ブランド「太陽のタマゴ」は全国的に高い認知度を誇る。（収穫量全国2位）

### ピーマン



全国有数の冬春ピーマン産地。ビタミンCの含有量が高く、「みやざきビタミンピーマン」として健康に着目した販売にも取り組む。（収穫量全国2位）

### きんかん



完熟きんかん「たまたま」は、大玉で糖度16度以上と甘く、生のままおいしく食べられる。（収穫量全国1位）

### きゅうり



鮮度抜群の「ワンタッチきゅうり」など、高い生産技術により年間を通じ高品質で安定した量を出荷する一大産地。（収穫量全国1位）

### かつお類・まぐろ類



近海かつお一本釣りによる漁獲量は、平成6年から連続で全国一で、令和2年度日本農業遺産に認定される。まぐろ延縄漁業も沿岸で1位、近海で2位と全国上位の漁獲量を誇る。

### スギ



森林資源の充実や全国トップクラスの生産基盤を背景に、スギ素材（丸太）生産量は、平成3年以降連続して日本一を誇る。

### うなぎ（養殖）



児湯、中部地区を中心に、天然種苗に恵まれ、豊富な水資源と温暖な気候を活かした養殖が盛ん。近年のシラスウナギの不漁を受け、資源管理を積極的に実施。（収穫量全国3位）

# 宮崎県内の各地域における農林水産物

## 西臼杵地区

【農畜産物】 水稻、トマト、きゅうり、ほうれんそう、ピーマン、くり、きんかん、ゆず、ホオズキ、ランタンキュラス、茶、葉たばこ、肉用牛、ブロイラー  
 【林産物】 スギ、乾しいたけ  
 【水産物】 やまめ

## 東臼杵地区

【農畜産物】 水稻、トマト、たまねぎ、ほうれんそう、きんかん、くり、平兵衛酢(へべす)、かき、スイートピー、しきみ(切り枝)、ホオズキ、ユリ、ブロイラー、肉用牛、豚  
 【林産物】 スギ、乾しいたけ、木炭  
 【水産物】 いわし類、さば類、まぐろ類、ぶり類、まかじき、まあじ、あゆ、うなぎ、チョウザメ

## 西諸県(にしもろかた)地区

【農畜産物】 水稻、メロン、ごぼう、さといも、ほうれんそう、ピーマン、いちご、なし、ぶどう、くり、マンゴー、輪ぎく、鉢苗物、葉たばこ、肉用牛、ブロイラー、豚、乳用牛  
 【林産物】 スギ  
 【水産物】 チョウザメ

## 北諸県(きたもろかた)地区

【農畜産物】 水稻、きゅうり、ごぼう、さといも、いちご、ほうれんそう、かんしょ、きんかん、茶、豚、肉用牛、乳用牛、ブロイラー、鶏卵  
 【林産物】 スギ、生しいたけ  
 【水産物】 こい

## 南那珂地区

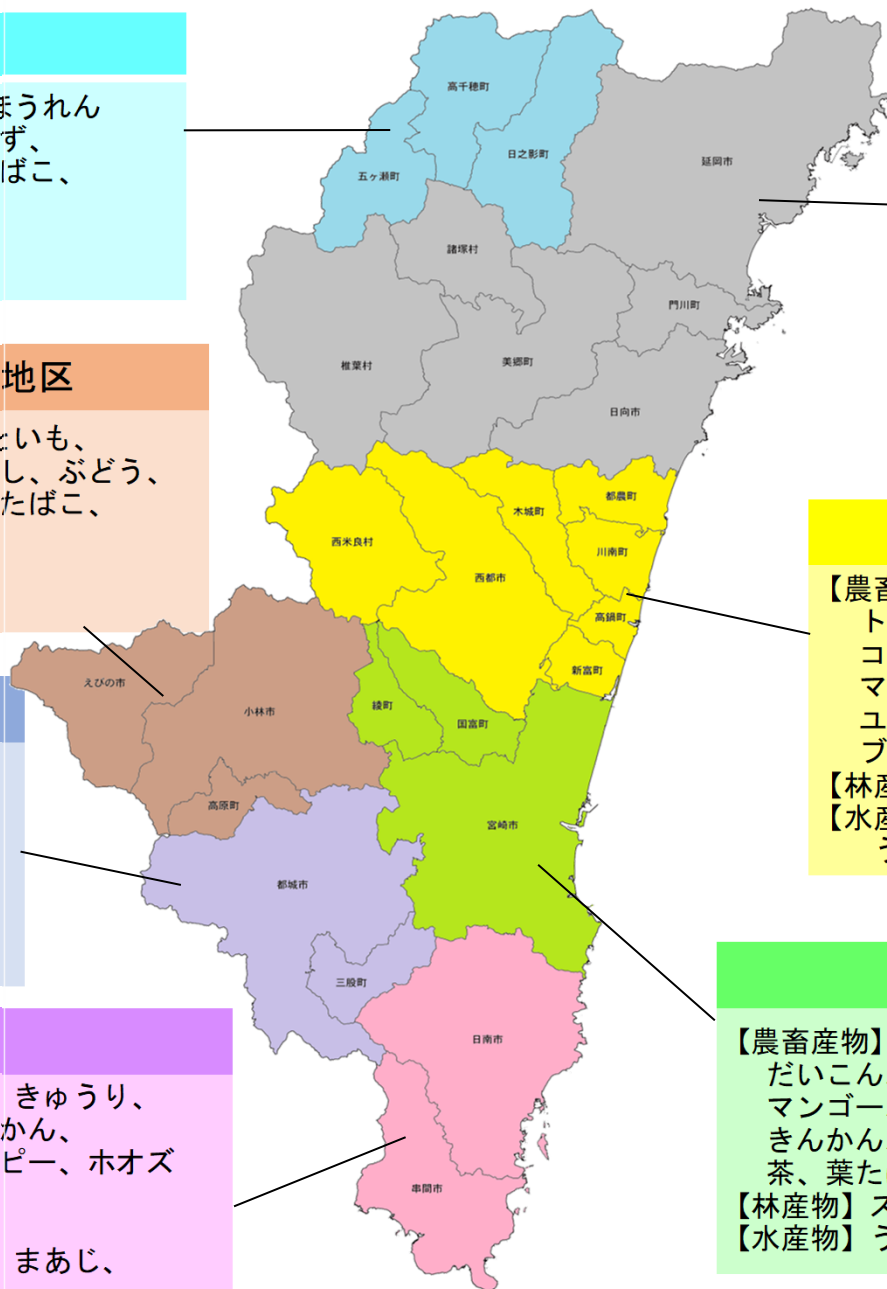
【農畜産物】 水稻、かんしょ、ピーマン、きゅうり、ごぼう、温州みかん、マンゴー、きんかん、ぽんかん、日向夏、不知火、スイートピー、ホオズキ、豚、肉用牛、ブロイラー、乳用牛  
 【林産物】 スギ  
 【水産物】 かつお類、まぐろ類、ぶり類、まあじ、いせえび、チョウザメ

## 児湯(こゆ)地区

【農畜産物】 水稻、ピーマン、きゅうり、トマト、ほうれんそう、にら、スイートコーン、にがうり、いちご、ズッキーニ、マンゴー、ぶどう、ゆず、スイートピー、ユリ、シンビジウム、茶、葉たばこ、ブロイラー、肉用牛、豚、鶏卵、乳用牛  
 【林産物】 スギ  
 【水産物】 まぐろ類、チョウザメ、こい、うなぎ

## 中部地区

【農畜産物】 水稻、きゅうり、ピーマン、だいこん、トマト、いちご、しょうが、マンゴー、日向夏、温州みかん、きんかん、輪ぎく、バラ、コチョウラン、茶、葉たばこ、肉用牛、豚、ブロイラー  
 【林産物】 スギ、えのきたけ  
 【水産物】 うなぎ、ちりめん、いせえび



出典：統計でみる宮崎県の農畜産業2021 農産物マップ、宮崎県水産白書(平成30年7月)等を基に作成

# 宮 崎 県 の 農 業 ( 1 )

- ・耕地面積は6万4,800haで全国第20位。内訳は、田が3万4,600haで29位、畑が3万100haで15位。
- ・農業経営体数は2万1,117経営体で全国第23位。
- ・基幹的農業従事者数は3万1,570人で全国第20位。

## 耕地面積

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
耕地面積	64,800 ha	4,349,000 ha	20
田	34,600 ha	2,366,000 ha	29
畑	30,100 ha	1,983,000 ha	15
普通畑	25,100 ha	1,126,000 ha	12
樹園地	3,930 ha	263,200 ha	19
牧草地	1,140 ha	593,400 ha	16
参考) 総土地面積	773,500 ha	37,797,463 ha	14

出典:「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

## 荒廃農地面積

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	2,860 ha	281,831 ha	33

出典:「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

## 担い手への農地の集積状況

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	34,967 ha	2,535,115 ha	17
集積率	53.6 %	58.0 %	14

出典:「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注: 農地中間管理機構を介さないものを含む。  
令和3年3月末の数値である。

## 農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
農業経営体数	21,117 経営体	1,075,705 経営体	23
法人経営体	758 経営体	30,707 経営体	11
総農家数	30,940 戸	1,747,079 戸	27
販売農家	20,304 戸	1,027,892 戸	23
参考) 世帯総数	470,055 世帯	55,830,154 世帯	34
集落営農数	104 集落営農	14,490 集落営農	34

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

## 基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	31,570 人	1,363,038 人	20
男	18,404 人	822,144 人	21
女	13,166 人	540,894 人	17
65歳以上	19,533 人	948,621 人	23
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	61.9 %	69.6 %	-
認定農業者数	7,751 経営体	233,806 経営体	10
法人数	806 法人	26,080 法人	5
参考) 総人口数	1,069,576 人	126,146,099 人	35

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

# 宮 崎 県 の 農 業 ( 2 )

- ・ 農業産出額は3,348億円で全国第6位。内訳は肉用牛が708億円、ブロイラーが700億円、野菜が681億円、豚が521億円。
- ・ 農畜産物の生産状況は、きゅうり、キンカン、ヒュウガナツが全国第1位。ピーマン、ズッキーニ、にがうり、マンゴー、豚、ブロイラーが2位。さといも、肉用牛が3位。
- ・ 農業者等による生産関連事業は、農産加工の年間販売金額が444億1,500万円で全国第4位。事業体数は620事業体。

## 農業産出額

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
農業産出額	3,348 億円	89,557 億円	6
米	173 億円	16,551 億円	30
麦類	x 億円	521 億円	- *
雑穀	0 億円	77 億円	31
豆類	1 億円	712 億円	37
いも類	70 億円	2,391 億円	7
野菜	681 億円	22,520 億円	13
果実	129 億円	8,741 億円	18
花き	60 億円	3,080 億円	17
工芸農作物	41 億円	1,553 億円	7
その他作物	x 億円	697 億円	- *
畜産	2,157 億円	32,279 億円	3
肉用牛	708 億円	6,863 億円	3
乳用牛	95 億円	9,310 億円	16
生乳	80 億円	7,798 億円	17
豚	521 億円	6,596 億円	2
鶏	830 億円	8,724 億円	2
鶏卵	97 億円	4,577 億円	21
ブロイラー	700 億円	3,621 億円	1 *
その他畜産物	3 億円	787 億円	17
加工農産物	21 億円	436 億円	7

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 農畜産物の生産状況

区 分	年次	宮 崎 県	全 国	全国順位	
きゅうり	収穫量	R2	60,700 t	539,200 t	1
キンカン	収穫量	元	2,850 t	3,999 t	1
ヒュウガナツ	収穫量	元	3,138 t	5,890 t	1
ピーマン	収穫量	R2	26,800 t	143,100 t	2
ズッキーニ	収穫量	H30	2,516 t	9,832 t	2 *
にがうり	収穫量	H30	2,276 t	18,077 t	2 *
マンゴー	収穫量	元	1,184 t	3,519 t	2
豚	飼養頭数	R3	796,900 頭	9,290,000 頭	2
ブロイラー	出荷羽数	R3	139,663 千羽	713,834 千羽	2 *
さといも	収穫量	R2	13,400 t	139,500 t	3
ごぼう	収穫量	R2	10,200 t	126,900 t	4
肉用牛	飼養頭数	R3	250,000 頭	2,605,000 頭	3

出典：「野菜生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「地域特産野菜生産状況調査」、「畜産統計」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位	
農産加工	総額	44,415 百万円	946,841 百万円	4
	事業体数	620 事業体	32,400 事業体	26
農産物直売所	総額	18,957 百万円	1,053,366 百万円	23
	事業体数	310 事業体	23,650 事業体	29
農家レストラン	総額	1,526 百万円	35,696 百万円	5 *
	事業体数	30 事業体	1,360 事業体	13 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 宮 崎 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は255億円で全国第4位。内訳は、木材生産が197.7億円で77.5%。
- ・ 林業経営体数は1,796経営体で全国第2位。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が187万9,000m<sup>3</sup>で全国2位。その内、すぎが173万9,000m<sup>3</sup>で1位。

## 林野面積

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
林野面積	585,908 ha	24,770,201 ha	13
国有林	176,561 ha	7,153,338 ha	10
民有林	409,347 ha	17,616,863 ha	15
人工林面積	332,801 ha	10,203,842 ha	8

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

## 林業経営体数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,796 経営体	34,001 経営体	2
法人経営体	175 経営体	4,093 経営体	4

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

## 林業産出額

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
林業産出額	255.0 億円	4,286.4 億円	4
木材生産	197.7 億円	1,943.7 億円	2
栽培きのこ類生産	54.7 億円	2,259.6 億円	8

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

## 林産物の生産状況

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
素材生産量	1,879 千m <sup>3</sup>	19,882 千m <sup>3</sup>	2
針葉樹	1,839 千m <sup>3</sup>	18,037 千m <sup>3</sup>	2
すぎ	1,739 千m <sup>3</sup>	11,663 千m <sup>3</sup>	1
ひのき	96 千m <sup>3</sup>	2,722 千m <sup>3</sup>	10
広葉樹	40 千m <sup>3</sup>	1,845 千m <sup>3</sup>	11
オガ炭	生産量 555 t	6,363 t	1 *
木・竹酢液	生産量 316,179 L	1,894,003 L	2 *
木質粒状燃料	生産量 24,766 t	148,726 t	2 *
乾しいたけ	生産量 400 t	2,302 t	2
白炭	生産量 227 t	2,948 t	3 *

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 製材工場数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
工場数	132 工場	4,115 工場	8
製材用素材の入荷があった工場数	132 工場	4,067 工場	8
国産材のみ	112 工場	3,237 工場	8
国産材と輸入材	10 工場	653 工場	29

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 宮 崎 県 の 漁 業

- ・海面漁業・養殖業産出額は323億円で全国第14位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業でびんなが、うるめいわしが全国第1位、海面養殖業でまあじが3位。
- ・漁業者等による生産関連事業は、漁家レストランの年間販売金額が13億1,600万円で全国第1位。水産加工の年間販売額が89億3,400万円で5位。

## 漁船隻数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
漁船隻数	1,438 隻	132,201 隻	29
動力漁船	1,176 隻	69,920 隻	25

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

## 漁業経営体数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	950 経営体	79,067 経営体	28
内水面漁業経営体数	76 経営体	4,772 経営体	17

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

## 漁業就業者数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	2,202 人	151,701 人	24
男	2,107 人	134,186 人	24
女	95 人	17,515 人	26

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

## 漁業産出額

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	323 億円	13,484 億円	14

出典：「令和元年漁業産出額」

## 水産物の生産状況

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	132,286 t	4,182,983 t	8 *
海面漁業漁獲量	118,947 t	3,213,334 t	7
びんなが	14,492 t	62,840 t	1 *
うるめいわし	10,670 t	42,568 t	1 *
海面養殖業収穫量	13,339 t	969,649 t	19 *
まあじ	96 t	595 t	3 *
内水面漁業・養殖業生産量	3,285 t	50,832 t	6 *
内水面漁業漁獲量	33 t	21,745 t	26 *
こい	4 t	162 t	7 *
内水面養殖業収穫量	3,252 t	29,087 t	3 *
うなぎ	2,856 t	16,806 t	3 *

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

## 漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	宮 崎 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	8,934 百万円	175,132 百万円	5
	事業体数	20 事業体	1,500 事業体	22
水産物直売所	総額	667 百万円	36,489 百万円	19 *
	事業体数	10 事業体	800 事業体	18 *
漁家レストラン	総額	1,316 百万円	11,822 百万円	1 *
	事業体数	10 事業体	420 事業体	11 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 宮崎県の農林水産業の話題等

## みやざき食農連携プロジェクト（LFP）

全国に先駆けて、令和3年7月2日に「みやざき食農連携プロジェクト（LFP）」プラットフォーム設立式が開催された。

LFPの取組計画において、ポストコロナ商品・サービスの創出によるコロナ禍からの宮崎県農林水産物の消費・販路回復の短期ビジョンやLFPから生まれた新商品・新サービスが「価格連鎖」を生み、それにより地域経済が活性化し、安心して暮らせる地域づくりの長期ビジョンが示された。

設立式以降のこれまでの活動内容は、7月にLFPのパートナーを募集し87者の入会があり（令和4年3月末現在 113者）、テーマごとの戦略会議（2回開催）、ワークショップの開催（2回開催）等、地域の食と農に関する多様な関係者が参画した「パートナー間の情報共有及び連携強化に関する活動」「ローカルフードビジネスの創出に関する活動」「LFP活動の情報発信」等が取り組まれている。

・令和4年3月16日には、各プロジェクトの成果報告や成果展示が行われた。



## 世界農業遺産・日本農業遺産

### 世界農業遺産（平成27年度）

#### ○高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システム（高千穂郷・椎葉山地域）

険しく平地が少ない山間地において、針葉樹による木材生産と広葉樹を活用したしいたけ栽培、和牛や茶の生産、棚田での稲作等多様な農業を組み合わせたシステム。森林と農林業の調和が図られ、生物多様性が保全されている他、五穀豊穡を願う神楽などの伝統文化も育んでいる。

### 日本農業遺産（令和2年度）

#### ○造船材を産出した飫肥林業と結びつく「日南かつお一本釣り漁業」（日南市）

約300年間続く伝統漁法のかつお一本釣り漁業が水産資源の保全につながる漁法であることや、かつては地域で生産される飫肥杉が漁船に使われるなど、漁業と林業を合わせたシステムであることが認められた。漁業者も整備に協力する飫肥杉の山々から栄養塩が流れ込む豊かな海で、かつおの餌を畜養するなど、現在においても林業と漁業が密接に関連している。

#### ○宮崎の太陽と風が育む「干し野菜」と露地畑作の高度利用システム（田野・清武地域）

耕畜連携により、土作りを行いながら約100年前から大根を干し野菜に加工して、地域の収益の安定につなげ、乾燥した冬の西風を利用して大根を干す「大根やぐら」の景観も観光資源などに生かした地域全体の取組が評価された。